

## 日吉台地下壕保存の会

## 会報

## 第23号

発行 日吉台地下壕保存の会  
編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上  
郵便振込(口座番号)横浜2-62997  
(加入者名)日吉台地下壕保存の会

日吉台地下壕

## 生かせハマに眠る歴史

最後の連合艦隊司令部を調査  
公開求め  
冊子発行  
保存会

ようやく出来上った  
パンフレットと  
神奈川新聞の紹介記事

1992年夏 分担執筆  
小園、寺田、加賀谷補筆訂正  
1993年4月17日発行

目次	ページ
第5回総会開催される	2
三つの重点	2
総会資料	2、3、4、5、6
総会を終えて	3

パネルデスカッション 「カンボジアと日本の 国際貢献をめぐって」	4
カンボジア雑感	7
お知らせ	8

連合艦隊司令部ほか  
旧海軍極秘地下施設

## 第五回総会

## 開催される

さる四月一七日、慶大藤山記念大会議室において、第五回総会が開催された。議事は滞りなく進行し、別欄記載の通り可決された。ご一読ください。

ついで行なわれたパネルディスカッショーンは参加者一同真剣に耳を傾けた。参加者が少なかつたことが惜しまれる。

## 二つの重点

駿島 重俊

地下壕保存の会もそろそろ運営上の転換期にさしかかって来ている。

会員数を拡大するという目標も或程度達成したし、他の市民組織と連帯するという目的も徐々に成し遂げて來ている。

## 1992年度活動報告

会結成から満4年が過ぎ、第5回総会を迎えるました。この間、世界情勢は激動し、世界各地で紛争が多発し、日本もバブルが崩壊し、これから先どうなるか不透明な時代となっています。また、日本の自衛隊がついにカンボジアに出兵しました。

1992年度も、私たちは、様々な活動をして参りました。会員の数も増え、現在500名を突破しました。会報は、第17号から第22号まで6回、順調に発行することができました。会員の方々から地下壕見学会の感想文などが沢山寄せられました。運営委員会は1回、幹事会は9回それぞれ開催され、保存の会の核として活動してきました。

保存の会の具体的活動として全会員を対象とした行事としては、映画「戦争と青春」の上映、「松代大本營」の見学会、「日吉台地下壕」の見学会などを実施したほか、川崎市中原平和教育学級記録編集委員会・川崎市中原平和人権尊重学級企画委員会と私たちの日吉台地下壕保存の会の3者で「平和のための戦争展実行委員会」を組織して、「私の街から戦争が見える」というテーマで戦争展を行いました。これは川崎市教育委員会の共催、川崎市の後援を得て、成功裡に終わりました。

各種団体の日吉台地下壕の見学会は、元連合艦隊司令部通信隊の下士官・兵士の会、慶應大学白井ゼミの学生たち、神奈川県高等学校教科研究会社会科部会の先生方、自治労横浜支部、「平和のための戦争展」のプレイベント、部落解放同盟の人権啓発研究集会、中原平和人権尊重学級、来日韓国学生たち、追浜高校地学部の先生と生徒、などの団体からの申込があり、全部で9回行いました。日吉台地下壕の存在はかなり広く世間に浸透して参りました。一刻も早く地下壕を整備保存し、多くの人々が見学できるようにして欲しいという声が、多く寄せられています。

マスコミ関係では、例年同様この1年間も、新聞・テレビでしばしば取り上げられました。

調査活動では、蟹ヶ谷の地下壕を2回調査しました。また、聞き取り調査も何回か行い、新しい事実も出てきました。

地下壕の保存については、昨年の4月14日に日吉台地下壕保存の会をはじめ9団体の参加による「日吉台地下壕問題調査団」が組織され、地下壕の見学・調査を行いました。その足で県庁と市庁を訪れ、県知事と横浜市長に地下壕の整備保存の要請書を渡しました。返事をくれることになっていましたが、未だに何の音沙汰もありません。今年度は、市や県当局、情勢によっては慶應義塾当局にたいして、地下壕の整備保存についての働きかけを、強めていく必要があります。

これで1992年度の活動報告案の説明を終わります。

## 1992年度決算報告書

(単位は円)

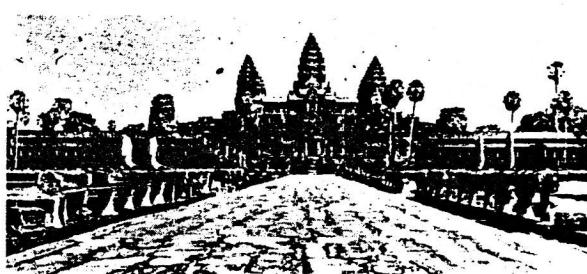
	1991年度決算 1991.4.3-1992.3.31	1992年度予算 1992.4.1-1993.3.31	1992年度決算 1992.4.1-1993.3.31
収入の部			
会費	480500	350000	455500
カンパ	50845	0	30400
利息	0	0	12516
事業益	115840	0	18100
総計	410439	704204	704204
合計	1057624	1054204	1220720
支出の部			
会議費	5200	30000	6058
事務費	47919	80000	25808
印刷費	72996	650000	64057
通信費	139264	160000	175577
資料費	0	20000	47000
謝礼	54361	80000	18318
予備費	33680	34204	46310
合計	353420	1054204	383128
差引残高			
合計	704204	0	837592

以上の通り報告します。

日吉台地下壕保存の会事務局長 寺田貞治 印

1993年4月3日

この報告により収支を監査したところ適正に処理されていることを認めます。

会計監査 森山高行 印  
会計監査 天野香子 印

寺田事務局長を支える仕事に取り組みましょう。

少なかつたことです。年一回の総会なのですから、何とか都合をつけて参加してほしいものです。わざわざカンボジアからきたサンピアラ氏等にパネルディスカッションをやつたのが残念な気がしました。もう一つは、いまひとつ手の参加者にしか伝えられなかつたのが残念な気がしました。

岡上 そう

今回の総会を終えての感想は、まず参加者の人数が大変順が良くなかったのではないかと思いました。ビデオ上映を行なつてからパネルディスカッション等の事をしましたが、これは実際に終えてから、順序を逆にした方がまとまつたのではないかと思いました。

まあ順序はどうであれ、まずは、参加してみる事が大切だと思います。幹事会が主体の会ではなく、皆さんで協力して営んでゆく会であるべきではないでしょうか。次回は是非来ていただきたいと思いま

今何が重要な点を考えてみると、第一に会員ができる組織体にしてある。寺田事務局長以下の努力で行政の中にもがつちりとくさびを打ち込んだのだが、それを支える手足が弱体なのである。事務局長の負担になつてきている多くの仕事を会員に

第三に学生、塾教職員、塾当局への対応の方法を模索すべきである。壕が塾内にあることがそれを要求する。



総会を終えて

かと思いました。ビデオ上映を行なつてからパネルディスカッション等の事をしましたが、これは実際に終えてから、順序を逆にした方がまとまつたのではないかと思いました。

まあ順序はどうであれ、まずは、参加してみる事が大切だと思います。幹事会が主体の会ではなく、皆さんで協力して営んでゆく会であるべきではないでしょうか。次回は是非来ていただきたいと思いま

## 1993年度活動方針案

保存の会が結成されて5年目を迎えました。流動的な世界情勢の中で、日本はカンボジアに派兵したばかりでなくモサンビックにも派兵が決定し、新たな戦前状況が作られようとしています。昨年から今年にかけて、日本は大きく転換しつつあります。果して日本の歩みはこれでよいのでしょうか。従軍慰安婦の問題、中国人・朝鮮人の強制連行・強制労働の問題など、まだ第2次大戦の後始末さえしていないのにと、疑問を感じざるを得ません。日本の国際貢献のあり方にもいろいろ問題があります。

太平洋戦争に対して、厳しく反省し、2度と再び過ちを繰り返してはなりません。そのためには、太平洋戦争を常に検証し、戦争というものの本質と実相を正しく伝えて行かなければなりません。

私たちは、92年度に引き続き調査を活発に行い、地下壕の整備と保存、戦争と平和を考える場として公開する運動をすすめていく必要があります。

今後の具体的活動としては、

1. 調査活動を活発に行う。
2. 見学会・講演会・戦争展など懇親な催しを活発に行う。
3. 会報を発行し、パンフレットを作り、トヨタ活動を活発にして会員を増やし、活動の輪を広げる。
4. 全国の関係諸団体との交流を深め、情報交換を活発にする。
5. 市や県当局、情勢によっては慶應義塾当局にも働きかけ、保存の要請または陳情、請願、署名運動などを行う。

今年度は、保存の目処をつけるべく、市や県当局に強く働きかけをしていきたいと思っております。私たちの願いを達成させるためには、多くの人々の理解と支援が必要です。目的達成まで、今年度も宜しく御支援・御協力をお願い致します。

これで1993年度の運動方針案の説明を終わります。

パネルディスカッション  
「カンボジアと日本の  
国際貢献をめぐって」

## 世界情勢、自國の立場等を理

解し、判断の出来る教育の土台つくりが大切だと感じていて、分より下の世代が生残った。

休憩後、机を口の字型にならべかえ、行なつた。ゲストはチア・サンピアラ氏（在日カンボジア人）と本田徹氏（国際保健協力市民の会代表）

ピースボートの方々も数人参加された。

サンピアラ氏は一九六三年生まれ、一九八〇年に兄を頼つて来日、大和市の難民キャンプで三ヶ月日本語を勉強し、川崎市西生田中学、高津高校に進学、東京理科大学電気工学科を今年卒業した。

村人同志の虐殺でおばと祖母が殺され、強制移住から村に帰った時、父と兄が殺されたと聞かされた。

故国再建に役立つことを総選挙後、どうなるのか。政治も経済も不安が多い。どのように援助をしていったら、本当にカンボジアの人々のためになるのか、援助の難しさを痛感していると言つう。

本田氏は一九八三年より援助活動に入った。民間、政府赤十字の三本柱の援助で、井戸掘り、自動車技術学校、保健医療、母子保健（三割が未亡人）などが行なわれてきた。

自然が豊かで、病気が多く、耐えられる人だけが生きられる環境の国である。



総会の前に上映された、カンボジアの現状を写したビデオの感想、アンタツクのことなど質疑応答も活発で、お正月寺田事務局長の実感のことなど司会もあって、問題の深刻さがますます印象づけられた。デスカッションであった。

## 1993年度予算表

(単位は円)

	1992年度決算	1993年度予算	備考
収入の部			
会費	455500	372000	372人×1000円
カンパ	30400	0	
利息	12516	0	
事業益	18100	0	
繰越金	704204	837592	
合計	1220720	1209592	
支出の部			
会議費	6058	20000	各種会合費
事務費	25808	40000	事務用品、封筒等
印刷費	64057	700000	会報、パンフレット等
通信費	175577	240000	会報、各種郵送代等
資料費	47000	50000	資料集・ビデオ等
謝礼	18318	80000	講師・調査費等
交通費		30000	
予備費	46310	49592	各種行事の賃貸金等
合計	383128	1209592	
差引残高 計	837592	0	

【補足説明】 収入欄の会費収入は、1992年度の会費納入者数が、372名だったので 1000円×372名 = 372000 とした。

支出欄の印刷費は、1992年度にパンフレットを発行する予定であったが、出来なかつたので、1993年度にパンフレット代を計上した。また、交通費も新たに計上した。

## 1993年度日吉台地下壕保存の会

運営委員・会計監査委員会

会長	鮫島 重俊
副会長	薄井 芳夫
"	田辺 和男
"	東郷 秀光
事務局長	寺田 貞治
幹事・事務局員	谷 栄
"	加賀谷 欣之助
"	小園 優子
"	茂呂 秀宏
"	谷藤 基夫
"	亀岡 敦子
"	馬妻 真子
"	白鶴 邦子
"	喜田 美登里
"	橋本 ミチ子
"	足立 英宣
"	岡上 そう
"	石田 誠吾
"	林 ちづ
"	中沢 正子
"	大西 章
会計監査	森山 高行
"	天野 香子
顧問	秋本 謙三
"	佐藤 林平
"	永戸 多喜雄
"	田辺 昇

## 第5回総会アッピール(案)

PKO法案の成立後、日本は憲法第9条を踏みにじって海外派兵への道を歩んでしまいました。このことは新たな戦前の状況を作り出しつつあると思わざるを得ません。このような選択をする前に、先ず私たちがやらねばならないのは過去の債い——従軍慰安婦の問題をはじめとして、今アジアの人々から突きつけられている戦後補償——であるべきです。

戦後50年になんなんとする今日、ともすると私たちは平和に酔いしれ、平和ボケの中で、かつての戦争の悲惨さを忘れがちです。そして、身の周りに戦争の爪痕をとどめるものも少なくなりつつあります。しかし、日吉の丘の地下には、旧帝国海軍連合艦隊司令部の巨大な地下壕がそっくりそのまま眠っています。しかも戦争の実相を伝えるのに最もふさわしい爪痕として残されています。

この地下壕に足を踏み入れた人々は、戦争を知らない若い人さえ、戦争の愚かさを知り、是非ともこの地下壕を保存すべきだと考えるようになります。それほどにこの地下壕は、私たちに何かを語り始めるのです。このように歴史の教訓を語り伝える構築物も、今保存しなければ朽ち果て無くなってしまうでしょう。

私たちは、こうした歴史的な遺産を史跡として、また戦争と平和を考える原点として、現在及び後世の人々に残しておくために、今すぐにでも保存の運動を更に大きく訴えていく覚悟です。

本日の総会の名において皆さんと共に保存にむけての決意を表明したいと思います。

1993年4月17日

日吉台地下壕保存の会

連合国委員会報生口

三月二十四日一七時半

日吉地区センター

一、第五回総会について

四月十七日

十四時～十七時開催

総会資料の検討

二、事務局体制について

役割分担の方法を検討

三、会報二二号発行について

四月五日発行

大西、林、中沢が作成

都合のつく幹事が発送作業をする

四、パンフレットの発行について

いて

総会の日に発行する

議事

一、事務局体制について

役割の内容について検討

二、今後の具体的活動について

て

年間計画と次回の企画

七月一八日一二時三〇分

集合、蟹ヶ谷の地下壕見

学会開催

四、会報二三号について

六月一〇日発行予定

報告事項

第一回幹事会△会報生口

五月一二日一七時半

日吉地区センター

一、四月十九日広島ホームT  
Vが寄宿舎と地下壕を撮

影、五月二三日一八時よりTV朝日系で放映

二、四月二十五日「品川平和のための戦争資料展実行委員会」地下壕見学、一六

名参加

三、五月三百神奈川新聞にパンフレットの紹介記事が載る

四、五月二三日川崎市の小中高教員の地下壕見学予定

六月一二日慶應生協学生委員会主催地下壕見学会予定

総会報告を主記事事とする  
第二回松井事務会報出生口  
六月一日一七時半～  
日吉地区センター

報告事項

一、五月一八日港北区民会議  
に寺田、喜田、橋本、白  
鶴出席

二、五月二三日川崎市の中  
高の教員地下壕見学会、  
呂、谷藤が案内

三、五月二〇日ビースサイク  
ルの有志が地下壕見学を  
希望

議事

一、蟹ヶ谷見学会別欄参照

二、事務局体制について

(涉外・見学) 寺田、小  
園、谷藤、茂呂、岡上  
(庶務) 龜岡、馬養、橋

本

(書記) 喜田、谷藤

(会報) 中沢、林、大西  
(調査) それぞれ手分け

して行なう

(保存) 運営委員中心、  
具体的には鮫島、寺田、

ないよう、カンボジアの人達  
の平和の願いが実現するよう

にと心から思う。

二年前、やっとアンコール  
・ワットの観光が許されて、

かの地を訪れることができた。

その時はUNTACの話もな  
く比較的平穏であったが、そ  
れでも遺跡のあるシエムレア

市は夜は外出禁止、七時以  
後は送電も止っていた。警察

は銃をもつていた。

ブノンベンのウナロム寺で

日本人僧渋井修師にお会いし

た。ポル・ポト政権下で、寺

は荒れ果て、僧侶や信徒は殺  
されてしまった。骨の山の間

でお経を読み、三年前からこ  
の寺に住まるようになった

こと。今は学校を開いて

いるために、豊かな自然に

いられる。茜色の僧衣が精悍

な風貌によく似合い、こうい

う日本人もいるのだと、川風

の吹込む寺院でお話を聞いて

いて感動を覚えた。訪れた孤  
児院では戦乱で親を失った子  
供たちがおどりをみせてくれた  
た。衣類も、文房具も、足り  
なかつたので、私たちはノー  
トや、えんぴつをおいて帰  
ってきた。

が、新たな段階に入ろうとし  
ている。今度こそ「キリング  
・フィールド」の時代に戻ら  
ないよう、カンボジアの人達  
の平和の願いが実現するよう  
にと心から思う。

二年前、やっとアンコール  
・ワットの観光が許されて、

かの地を訪れることができた。

その時はUNTACの話もな  
く比較的平穏であったが、そ  
れでも遺跡のあるシエムレア

市は夜は外出禁止、七時以  
後は送電も止っていた。警察

は銃をもつていた。

ブノンベンのウナロム寺で

日本人僧渋井修師にお会いし

た。ポル・ポト政権下で、寺

は荒れ果て、僧侶や信徒は殺  
されてしまった。骨の山の間

でお経を読み、三年前からこ  
の寺に住まるようになった

こと。今は学校を開いて

いるために、豊かな自然に

いられる。茜色の僧衣が精悍

な風貌によく似合い、こうい

う日本人もいるのだと、川風

の吹込む寺院でお話を聞いて

いて感動を覚えた。訪れた孤  
児院では戦乱で親を失った子  
供たちがおどりをみせてくれた  
た。衣類も、文房具も、足り  
なかつたので、私たちはノー  
トや、えんぴつをおいて帰  
つた。

が、新たな段階に入ろうとし  
ている。今度こそ「キリング  
・フィールド」の時代に戻ら  
ないよう、カンボジアの人達  
の平和の願いが実現するよう  
にと心から思う。

二年前、やっとアンコール  
・ワットの観光が許されて、

かの地を訪れることができた。

その時はUNTACの話もな  
く比較的平穏であったが、そ  
れでも遺跡のあるシエムレア

市は夜は外出禁止、七時以  
後は送電も止っていた。警察

は銃をもつていた。

ブノンベンのウナロム寺で

日本人僧渋井修師にお会いし

た。ポル・ポト政権下で、寺

は荒れ果て、僧侶や信徒は殺  
されてしまった。骨の山の間

でお経を読み、三年前からこ  
の寺に住まるようになった

こと。今は学校を開いて

いるために、豊かな自然に

いられる。茜色の僧衣が精悍

な風貌によく似合い、こうい



カンボジア

難民感心

林 ちづ

カンボジアの総選挙がぶじ  
に終り、結果はまだ判らない

なこと。今は学校を開いて

いるために、豊かな自然に  
いられる。茜色の僧衣が精悍  
な風貌によく似合い、こうい

う日本人もいるのだと、川風

の吹込む寺院でお話を聞いて

いて感動を覚えた。訪れた孤  
児院では戦乱で親を失った子  
供たちがおどりをみせてくれた  
た。衣類も、文房具も、足り  
なかつたので、私たちはノー  
トや、えんぴつをおいて帰  
つた。

## お知らせ

### ★蟹ヶ谷の地下壕見学会

日時 七月一八日(日)

午後一時三〇分集合

集合場所 川崎市高津区蟹ヶ谷 東急バス蟹ヶ谷バス停

会費 五百円

持物 長靴、懐中電燈、

行き方 地図参照

①東横線綱島駅～南武線新城

駅を往復のバスに乗る

②東横線日吉駅より東急バス  
下田住宅行にて下田小学校前  
下車歩く



蟹ヶ谷の通信隊の構築物（監視所の跡？）



## 月光の夏

監督：神山 征二郎／企画・原作・脚本：毛利 恒之（小説「月光の夏」河文社刊）

出演：若林 真由美・田中 実・永野 興勝

渡辺 美佐子・石野 真子・小林 哲子

田村 高廣（特別出演）・山本 圭・仲代 達矢

製作：株式会社仕上／製作協力：映画「月光の夏」を支援する会

協力：ヤクルトグループ・特撮会・少年会・甲賀会・社団法人「昭和族会」

配給：（ラード・エース）日本（ラード映画／映画「月光の夏」全国配給委員会）

### ★映画「月光の夏」の上映が

六月一二日から始まります。

レットを「希望のかたは、寺

田までお申込みください。送

料別、四五〇円（会員四〇〇

円）です。

横浜オスカー、丸の内シャン

ゼリゼ等で上映されます。

### ★「歩く731部隊展」

七月六～十一日

新宿区民ギャラリー

七月十三～十七日

渋谷・山手教会

元住吉・川崎平和館

## お願ひ

会費未納の方は、至急ご送金  
ください。

二年間ご入金のない方は、会  
報の送付を中止させていただ  
きます。